

けんぱくものしりシート

オオタカ



解説員

胸もとがきれいな横しまもようのこのタカは、「オオタカ」といいます。しかし、“オオ”タカといっても、とくべつに大きいわけではありませんね。ではなぜ、オオタカというのでしょうか？また、オオタカはいったいどんな鳥なのでしょう？オオタカさんたちの話を聞いてみましょう。

オス

メス

ぼくたちは、オスの背中が青みがかかった灰色をしているよ。そのため、「アオタカ」とよばれるようになり、それがなまって「オオタカ」になったんだ。

見てのとおり、オスのほうがメスよりも小さいのよ。その理由は、うら面①を読むと分かるわ！

子どものころはちがったもようをしていて、目の色も黄色ではなかったんだ。どんなすがたか、うら面②でしようかいするよ。

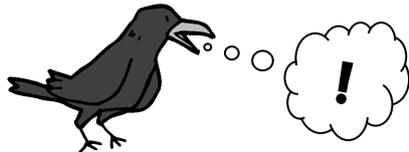
わたしたちは、平地や山の中であらしているの。さまざまな開発で自然かん境がかわって住むところが少なくなり、場所によってはわたしたちの数が減っているのよ。

ぼくたちは肉食で、主にハトやカモなどの鳥のほか、ネズミ、イヌの子やネコなども食べるんだ。かりがとくいで、ねらったえものはしつこく追いかけるよ！その、かりの力をいかして、「タカがり」でも大活やくしているんだ。タカがりについては、うら面③を見てね！

飛ぶ能力がとても高く、横にまっすぐ飛んだ時で時速80km、急降下した時には時速130kmにもなるのよ！

① どうして、オスのほうがメスよりちい小さいの？

オオタカなどタカのなかまは、子育てのとき、主にメスは卵たまごをだき、オスはえさをとりに行きます。そのため、いろいろなところを飛び回りやすいように、オスがちい小さめになっているのです。オスの全長ぜんちようは約50cm、メスが約60cm、よく開長かいちよう（つばさを広げた長さ）約100~130cmで、大きさはトビよりもちい小さくて、カラスと同じくらいです。



② 子ども（幼鳥）のころは、 どんなすがたをしているの？

の縦もようがあります。生後、約1年間はこの色しきをしています。巣立ち直後は、灰色はいいろがかった目の色めいろをしています。少しずつ黄色きいろになります。

あたま せ しょく むね
頭や背はかっ色、胸や
はら はクリーム色で、かっ色

写真：岩本 敏さん撮影



③ 「タカがり」ってなあに？

昔から世界の各地で行われている、人が飼いならしたタカのなかまに鳥をつかまえさせる、かりの方法です。タカがりに使われるタカの代表はオオタカで、その他にハイタカ、クマタカ、ハヤブサ、ツミなどが使われます。現在、日本ではオオタカをつかまえることが禁止されているため、海外から輸入して、タカがりの技術ぎじゆつを伝えています。

むかし せ かい かくち おこな ひと
昔から世界の各地で行われている、人

参考にした本 『日本動物大百科 第3巻 鳥類I』株式会社平凡社 1996年 / 『カラー写真による日本産鳥類図鑑』東海大学出版会 1992年 / 『特別展 鷹狩り—歴史と美術—』大田区立郷土博物館 1988年 他

らいげつ がつ
来月（12月）の
けんぱくものしりシートは
たいけんがくしゅうしつ
体験学習室-5だよ！
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>